

三原愛溢れる三原人 持続可能な地域自給自治社会を目指して コミュニティスクールと学校カンパニー

令和7年12月11日

「生活充実講座」を地域に広める会

～みちみち～

代表 下村拓滋

もうすぐ激動の令和7年から激動の令和8年へ

グローバリズムからインターナショナリズムへ、

そして、誰もが顔の見える関係が大丈夫な三原に

「生活充実講座」は、三原市と県立広島大学の協働事業の1つとして、2018年（平成30年）に第1回が行われ受講者は300名を越えています。この講座で学んだことを、日常生活に織り込み実行し、お互いの体験を持って、住みよい街づくりを目指して活動しています。

そして、～みちみち～の「婚活～並びに終活～身元保証人確保のため、新しい仕組みを創設し、三原市民の誰もが安心して暮らせる地域づくり」

行政の役割は少子高齢化対策

事業者の役割は生産活動の安定化（工業化と情報化と社会貢献）

市民の役割はお互いの幸せの支援

結婚可能経済は（行政、事業者、市民）の協働事業

生活充実く地域自給自足く得意を使って地域に貢献

く婚活く子育てくキャリアアップく親の介護く次世代への継承く終活

一人一人が良かれと思って行動を起こせる

誰かが良かれと思った行動を他の誰かが引き継ぐ

それが時代を超えて継承される三原を一緒に創って行きましょう！

強制はしないさせない

過去は関係ない

永遠の今を生きる

永遠の今を創る

今幸せを感じて次の幸せに向かう

一緒に

高齢者や障がいのある方が安心して暮らし、子育てしやすい街づくり



今年の1月、あるFacebookコミュニティに衝撃的な事件が投稿されました。
シリコンバレーのITベンチャー、chatGPTPro（有料の生成AI）を導入して、ITエンジニアが全員
解雇。このプロジェクトの途中からITエンジニア達は薄々勘付いていました。でも、プロジェクト
リーダーだけは残るだろうと。しかし、リーダーを含むエンジニアを全員解雇。

このまま、世界の仕組み（債務貨幣制度の海に浮かぶ企業社会主義バブル）が変わらなければ、
（AI+ロボット）を導入して社員を解雇する企業が続出しそうです。まずは、「（AI+ロボッ
ト）を導入して社員を解雇する企業は人類にとって不要、人類にとって必要なのは（AI+ロボッ
ト）を使って開発した自動生産設備を世界中に配布する企業」だと声に出してみましょう。
声に出したら、それをどのようにして実現できるのかを一緒に考えよう！
持続可能な人類の未来を三原市民の皆様と一緒に考えるためコミュニケーションツールを公表し
ました。



三原市民がお互いに顔の見える関係が大丈夫にするために最も効果的な方法は何でしょう？
私は食糧の自給自足だと主張します。みんなで作ってみんなで食べる。三原には米の産地、大和
町、久井町、沼田川沿いの本郷、小泉、沼田があります。耕作放棄地もあります。
コミュニティスクールで三原の児童、生徒、学生は地域の大人と一緒に米と野菜を授業「地域社
会」で生産しましょう！



地域社会の仕組みをコミュニティスクールで学び、自分の得意を使って誰かに貢献する体験を意図
的に創る能力を獲得して貰いましょう！それを学校カンパニーで事業に。

代表の下村は、2024年末より、広島県と一緒に「人類の課題を解決する量子人工知能」を開発中。
量子AIに興味のある三原の児童、生徒、学生さんは MIHARABase を一緒に創りましょう！



これらの取り組みによって地域社会の仕組みから人類史と世界の仕組みを推論できる認知モデル
をみんなで育成して、世界を飲み込む三原人財になって頂きましょう！



皆さんと一緒に創る（コミュニティスクールと学校カンパニー）はあらゆる文化圏に適用可能な人
類を平和文化にアンカリングする社会システムそのものです。

生活充実講座

今の自分から将来にむけての ワークショップ（参加体験型）

2026年の計画を一緒に作りませんか？

資料代

500円

当日、集金します

ただし、大学生以下無料

【日時】

2026年

1月31日（土） 9:30～12:30

【会場】

サン・シープラザ 3階第1会議室

駐車場はサンシープラザ5階、クラフトパーキング（2階以上）のみ2時間減免できます。

【対象】

どなたでも 定員 20名（最少催行人員4名）

「わたしと」※に
これまでしてきたこと振り返り、記入します。
そこには自分が満足する活動のヒントがあり
ます。今後の生活をデザインしてみましょう。

※ わたしと：してきたこと、していること、したいことを
一覧できるシート

自分だけの
オリジナル
のシートが
出来ます



作業療法士
ごあみ なるこ
其阿弥 成子

申し込みは、電話、メール、QRコードで受け付けています。

お申込み
締切
1月24日（土）

主催

「生活充実講座」を地域に広める会～みちみち～

後援

三原市・三原市教育委員会・三原商工会議所

TEL

070-5559-5026（担当：下村）

MAIL

info@manmodelmarketing.com

裏面にも関係情報
があります



⇐講座の申込みは
こちらからも。
～みちみち～について
知りたい方はこちら⇒



「生活充実講座」は年3回、春・秋・冬に開催します

※「生活充実講座」は県立広島大学、作業療法士、博士 高木雅之先生が考案された講座です

第8回

「わたしーと」で 広がる地域の輪

2026年2月21日 **土**

10:00-12:30

会場：県立広島大学三原キャンパス4号館2階 4204教室

講師：高木 雅之（県立広島大学准教授，作業療法士，博士）

対象：どなたでも

定員：50名（先着順）

受講料：500円（大学生以下，無料）

「わたしーと」は自分を表現し、
人とつながるための道具です。
これまでしてきたことやこれからし
たいことをみんなで話し、お互い
を知り、つながりを作ります。
自分も周囲の人も大切に、豊か
に暮らせる地域づくりについて考
えます。



お申し込み
お問い合わせ

お申込み
締切
2月13日（金）

主催：「生活充実講座」を地域に広める会～みちみち～
後援：三原市、三原市教育委員会、三原商工会議所

MAIL: info@manmodelmarketing.com

TEL: 070-5559-5026（担当：下村）



←申込みはこちらの
QRコード、または
電話・メールで！



←「みちみち」について
知りたい方はこちら。
裏面もご覧ください。

「生活充実講座」は、三原市と県立広島大学の協働事業の1つとして

2018年（平成30年）に第1回が行われました。

以後、20回以上の講座が開催され、受講者は300名を超えています。

NPO法人光の理事・岡田増夫（以下私：岡田と記します）は、「生活充実講座」の創設当時、高齢化社会の到来、認知症対策の必要性を認識、成年後見制度の利活用が必要と考え、NPO法人の立上げを構想していました。

平成31年（～令和元年）1月早々に、地域担当の民生委員から、この「生活充実講座」の受講を薦められました。

丁度その頃、愛妻が持病もあって、三原市医師会病院に入院していました。病院に見舞いに行くのを兼ねて、受講しました。

私：岡田は、この講座には日々「振り返ること（8つの要素）が有ることに、強く共感しました」修了後、同窓会的なつながりが出来ました。

この講座は、大学に來にくい方々にも、受講して頂くように出来たら、との思いが、具体化して、令和2年4月1日に、「生活充実講座」を地域に広める会～みちみち～が立ち上がりました。

一方、NPO法人の立上げに向けて、知人・友人に呼び掛けて、賛同を得た方が20名を超えまして、設立準備にも余念なく毎日過ごしていました。

残念なことに、愛妻が2月27日に亡くなりました。愛妻は「延命治療はしない。ホスピス・緩和治療で逝きたい」と、決意していました。

病院の暖かい対応を受け、自分の決意と言っていた通りに逝きました。

私：岡田は、愛妻との別れを惜しむ間もない状態で、「生活充実講座」を日常生活に織り込み実行しながら、NPO法人の立上げを目指しました。

立上げに備え全く都合よく、広島市で、NPO法人「心の絆ネットワーク」の主催による、2度目の「市民後見人養成講座」も受講できました。

令和2年3月6日に設立登記。ご理解協力頂いた会員の皆様、設立手続きに、格別印象に残る親切な司法書士様に、心から感謝申し上げる次第です。

以後、三原市や三原市社会福祉協議会のご理解ご支援により、着々と進展。

現在、三原市社会福祉協議会より紹介して頂いている「出前講座」として「生活充実講座」「論語の素読と古典の朗読」「成年後見制度講座」「改正 育児・介護休業講座」がごございます。

これに加えて、創設以来20年余、地域活動の支援者組織として、活動実績のある、ボランティアみつだに会の支えにより、中之町中町内会第5ブロック「地域見守り推進事業」や、光谷ひまわり会「百歳体操」の導入などの実行体験も織り込み、令和6年7月より岡田増夫の「新しい講座」『「生活充実」「見守り～終活」「市民後見人養成」講座』を開始しています。

令和6年11月26日（火）東京・浅草公会堂において、ボランティアみつだに会が、厚生労働大臣表彰を受賞。今後の励みにしています。

どうぞよろしくお願い致します。

以上

「出前講座」等に関するお問い合わせは、

TEL 0848-63-7223 FAX 0848-63-3118

MAIL okada.m7223@gmail.com にて、お気軽にお願い致します。

（8つの要素）

とは、

- ①人とのつながり
- ②貢献
お役に立ったか
- ③楽しんだか
- ④癒し
リフレッシュしたか
- ⑤努力したか
- ⑥進展
物事が進んだか
- ⑦達成
うまくできたか
- ⑧収穫
何かを得たか
と、振り返ります
これを繰り返す
うちに
毎朝、今日の生活
の有り方を考える
自分になって
いました。

その体験は
家庭生活に
職場に

おいては
自己啓発に
仕事の計画
実行管理に
繋がるもの
と確信して
皆様に
お奨めする
次第です。
岡田 増夫

令和7年9月現在 岡田 増夫の「新しい講座」は『「生活充実」「婚活～育児・介護休業」「見守り～終活 身元保証人」「市民後見人養成」講座』となっています。